鶴川（おのじ）地区【小野路】

“かつての宿場町 里山を今に伝える”

奈良時代の勅旨牧※であった「小野牧」（現在の多摩市を中心とした地域）があり、そこから多磨郡小野郷へ通じる道であるとの意味で「小野路」となったと推測されます。その後は、鎌倉道や大山道の宿となり、応永10（1403）年の小野神社の鐘銘には、小野路が宿場だったことが記されています。現在は、市内で昔ながらの里山の風景を伝える貴重な場所になっており、歴史・自然・文化に触れられる拠点施設である小野路宿里山交流館があります。

C 滝山（たきやま）

小野路川に落差があり、滝になっていた所の向いの山であるので滝山とされました。滝は現在、暗渠（地下水路）になっています。

町田の歴史を調べてみよう

自由民権資料館

自由民権資料館は「自由民権運動」を柱に据えたテーマ館で、町田を中心に多摩・神奈川の民権運動関係史料を収集、研究をしています。常設展示や企画展示のほか、講座などのイベントを行っています。

野津田町897番地　042-734-4508

A 奈良杯（ならばい）

新田義貞が、鎌倉攻めのとき小野路に集結して「ものどもならべー」と号令をかけたのが、地名として残って「奈良杯」となったとの言い伝えがあります。地元の人も「ならべー」と呼んでいます。義貞は「ものどもつづけー」とも言ったとされますが、関連があるのでしょうか。つづけ沢という地名もあります。

にほんの里100選に選定された奈良杯谷戸の風景

B 関屋（せきや）

鎌倉古道と布田道が交差した場所で切通しになっています。関所があったので関屋という地名になったといわれています。

関屋の切通し

※天皇の勅旨によって設置された国有の牧場

鶴川（みわ）地区【三輪】

“鶴見川の水をめぐる地名”

原野が開墾された頃、東南部を「台野」、西北部を「御裔野（みすえの）」、北部を「藤桑生野」と呼び、総称して「三野輪」と呼ばれていたようです。天正年間（1573～1592）に三輪村になり、大和の三輪明神を勧請したと伝えられますが、確かではありません。一方、「水に囲まれたところ」という「みのわ」の意味からすれば、鶴見川の氾濫原に由来する地名かもしれません。そういった場所なので、旧河川の恩廻（おんまわし）公園の地下は巨大な調整池になっています。

恩廻公園

A 精進場（しょうじんば）

古来より雨降山といわれ、雨乞い信仰の中心だった大山へ参拝する時、精進場橋のたもとで身を清め、雨乞い神事が行われました。岡上の東光院の修験が修行した場所とも考えられます。上三輪では精進場橋、下三輪では四ツ木橋付近で雨乞いが行われていたといいます。

精進場橋

B ドヲドヲメキ

川の水音にちなんだ地名と考えられます。鶴見川の流量の多さと氾濫の恐ろしさが想像される地名です。現在も「ドオドオ」という呼称が地元で使われています。

C 四ツ木橋（よつぎばし）

四ツ木は「世継」とも書きます。廣慶寺の本尊である世継観音像は四ツ木橋のたもとの川中より発見されたとの伝承があります。古い地名のひとつに「御裔野（みすえの）」があり、「裔」は血筋や子孫を意味することから「世継」という地名につながったのかもしれません。

名所散策

三輪の森ビジターセンター

豊かな自然を残す「三輪緑地」は、さまざまな野草を楽しむことのできる散策路と下三輪横穴墓群などの史跡を大切に保存しています。散策の拠点としてビジターセンターがあり、郷土資料の展示室もあります。

町田市三輪町740　042-724-4399